ファクトセット ポートフォリオオプティマイザー

特定の制約やコストに従いながら、独自の投資目標に対する最適なマルチアセットクラスのポートフォリオを構築



真のマルチアセット ポートフォリオの構築

複数の資産クラスにまたがるポートフォリオを一度に最適化します。大半のオプティマイザーは、ポートフォリオを別々のものに分け、資産クラスに基づいて単独で最適化を実行しますが、ファクトセットのポートフォリオオプティマイザーでは、真の資産クラス間の最適化が、投資意図や直感をよりよく反映するように設計されています。マルチアセットでのポートフォリオワークフローや、株式、債券、ファンドレベルの各投資戦略をサポートします。

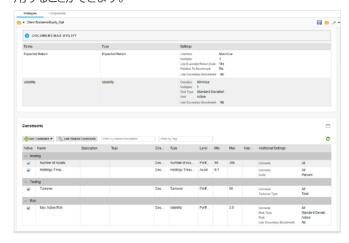
望ましいアプローチに基づいた最適化

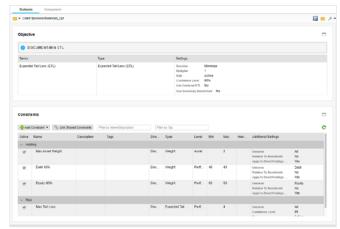
ファクトセットのポートフォリオオプティマイザーは、リスクをより全体的に分析するため、2つの最適化アプローチをサポートしています。平均分散に応じたリスクの最小化に基づくパラメトリックアプローチに従って最適化します。あるいは、期待テール・ロス(ETL)で測定されたダウンサイドリスクを考慮するシナリオベースのアプローチを用いることで、優位性を見出すこともできます。これは、非線形なペイオフと非正規分布をもつ資産を保有するポートフォリオに対して、特に有効なマルチアセットクラスでのアプローチとなっております。

FACTSET) SEE THE ADVANTAGE

ターゲットとなる独自の目標

幅広い独自の目的に向かって、最も理想的な資産配分モデルを構築することができます。期待リターンや取引コストの最小化、シャープレシオ、テールリスク調整後リターンレシオ (STARR)、分散レシオなど、ファクターを最大化させるのに従来からある指標を活用することができます。





ファクトセットのシームレスな統合によるメリット

ファクトセットのマルチアセットクラスのポートフォリオ分析エンジンとポートフォリオオプティマイザーとの統合により、完全な柔軟性を体感いただくことができます。単独のアプリケーションではなく、ポートフォリオ分析で直接高度な分析を行うことが可能です。 ポートフォリオオプティマイザーAPIを使用すれば、完全にカスタマイズ可能な定量的なリサーチが行えます。ファクトセットの Quantitative Research Environment (ファクトセットの安全かつホスティングされたJupyter Lab環境)やお客様の構築した環境下で、作成プロセスを設計、自動化させることができます。



```
"ifacctexists": "appendate",
"ifofdbdateexists": "replacedate",
"excludezero': True,
"archivedate": "20140104"

}

trolling_date = date(2014, 1, 4)
dateS = ''
one_week * timedelta(weeks:1)
period * 1
end_date = date(2021, 2, 9)

twile rolling_date < end_date:
dateS = rolling_date.strftime('%Ykmkd')
risk_model_date = dateS
backtest_date = dateS
backtest_date = dateS

backtest_date = dateS

fpo_output_types['account']['archivedate'] = dateS

#print(fpo_output_types)

fi period > 1:
strategy_overrides['constraints'] = {
    "17787663301-03026440479f6': "disable",
    "1778766301-33026440479f6': "disable",
    "1778766301-33026440479f6': "disable",
    "1778765301-03026440479f6': "disable",
    "1778765301-0
```